



前進

第3号

5月19日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

◎読み聞かせボランティアの方に来校いただきました。

読み聞かせボランティアサークル「青い鳥」の皆様には、長年子どもたちへの読み聞かせを行っていただいています。

今年度の第1回目の読み聞かせを5月12日（水）に実施しました。多くのメンバーの方に朝8：00に来校いただきました。その後それぞれの教室に入られ、絵本の読み聞かせが始まりました。子どもたちは食い入るような表情でお話を聞き、あっという間に時間が過ぎました。メンバーの皆様は、本の持ち方、話すスピードと声の大きさ、そして子どもを集中させる声かけなど、随所に工夫が見られました。このように地域の方に支えられることで、本校の教育活動が充実していくことを実感したひと時でした。

ところで、本の読み聞かせには次のような効果があると言われていています。

- (1) 多くの言葉に触れることで、子どもたちの言語能力を育む。
- (2) 限られた情報をしっかりと受け止めようとするため、集中力が高まる。
- (3) イメージを働かせて理解しようとすることで、想像力が高まる。等

特に親子で行う読み聞かせでは、一緒に絵本の物語の楽しみや悲しみなどを共有することで親子の絆が深まったり、情緒の安定につながったりする効果もあるといわれています。テレビやゲーム機をはじめ、ご家庭にもさまざまな情報機器があるかと思いますが、本にふれる機会も日常的に設けられたらいかがでしょうか。子どもたちの成長に大いに役立つと思います。

◎ご支援へのお礼とは・・・

ホームページにも掲載していますが、5月14日（金）に、熊本キワニスクラブ様から3名の方が来校され、子どもたちの様子をご覧になりました。



キワニスクラブとは、アメリカで創立された民間の奉仕団体で「ロータリークラブ」、「ライオンズクラブ」と並ぶ、世界三大奉仕団体の一つです。現在85か国、約7300のクラブ、会員約20万人が、奉仕活動に取り組んでおられます。

佐敷小学校の被災に際して、キワニスクラブ様からは多くの備品の寄贈がありました。（詳細はホームページをご覧ください。）寄贈いただいた備品が子どもたちの教育活動に大変役立っており有効に使わせていただいていることをお伝えすると、大変喜ばれました。

その後、寄贈いただいた長縄を使って5年生が体育の時間にウォームアップする様子を見ていただき、お礼を言う機会を設けました。久しぶりの長縄に戸惑いながらも連続跳びを笑顔で行う子どもたちの様子が大変印象的だったようで、「子どもたちが元気に学んでいる姿を見ることができ、来てよかったです。」と感想を述べてお帰りになりました。本校は、被災からの復興復旧に伴い、様々なご支援をいただいています。そのすべてに感謝の意を尽くすことはできませんが、子どもたちの笑顔と成長した姿をご覧に入れることが何よりのお礼であることを意識し、職員皆で日々の教育活動に当たってまいります。

◎心の潤い

本校は学校の至る所に花が飾られています。職員が持ち寄ったものやご家庭からいただいたもの、学校に咲いているものなどバラエティに富んだ花が飾られている様子を見ると、心の潤いを感じます。特にプレハブ校舎は殺風景になりがちですが、児童玄関に飾られた花は華やかさを与えてくれます。

ところで、校長室の花の水替えは普段養田先生が丁寧に行ってくれますが、時に子どもたちが手伝ってくれるときがあります。そんな時は私の心はますます潤いを感じています。



【校長室から】今年は記録的な早さの梅雨入りとなりました。今後、長雨や豪雨の被害がでないことを願っています。昨年度の被害を思い出して不安感を抱く子どももいるかもしれません。本校職員も校内研修等で、子どもの心のケアについて共通理解を図ります。お子様の様子で、不安に思われることがありましたら、学校へもお知らせください。